なごみ伝言板

作・南　久美子

【新米、ご難の時代】

伝統文化を守る
瑞饋（ずいき）神輿の製作を応援

㊨この日作られていた瓔珞の一部分

私も指導を受け製作をお手伝いしました

石井市長の現地・現場リポート ＝美しく品格のあるまちを目指して＝

棚倉孫神社では、市の無形民俗文化財である瑞饋神輿（＝**写真㊧**）の製作が始まっています。瑞饋神輿は、五穀豊穣を願って30種類以上の野菜や穀物で作られます。今年は2年に一度の巡行の年にあたることから、9月22日、製作現場へ激励に伺いました。

この日は、瓔珞（ようらく）と呼ばれる神輿の装飾の一部を製作されていました。一つ一つ丁寧に作られる工程に、文化をつないできた先人への敬意を新たにしました。10月9日の秋祭りには、氏子青年会や消防団員など約30人の手で担ぎ出される予定です。

地域住民のつながりの希薄化や高齢化による後継者不足などにより、地域のお祭りや伝統行事が途絶えるという話を全国各地で耳にします。ふるさとを感じられる地域のお祭りや伝統行事を守っていくため、今後もさまざまな形で支援を続けてまいります。

個性キラリ☆自分流

㉖オンリーワンの芸術を目指して

舞台芸術創造団体ワンダーラーファクトリー代表の髙嵜こず枝さん（43）

高校時代は、実家の栃木から新幹線で東京の美術大学付属高校へ通学したという髙嵜さん。大学卒業後は結婚を機に京田辺市に移住。「ミュージカルカンパニーワンダーラー」の旗揚げ、「舞台芸術創造団体ワンダーラーファクトリー」の設立など、演出家、原作・脚本家、総合舞台芸術作家として精力的に活動しています。

男女共同参画の視点から、さまざまな分野で活躍する人を紹介しています。

今号は、総合舞台芸術作家として活躍する女性に話を伺いました。

―舞台との出会い

美術高校在学時に、舞台芸術の魅力に引かれて劇団を旗揚げし、脚本・演出・演者など総合的な活動を始めました。大学では、芸術学を専攻する傍らミュージカルの専門学校にも通い、自主公演や舞台制作を行いました。当時は、女性が「演出家」と名乗っても聞いてもらえない男性社会でしたが、能力があれば認められる実力主義的な部分もありました。

―京田辺市での劇団の旗揚げ

結婚をきっかけに京田辺市に転入しましたが、地縁もなく、これまで頑張ってきた仲間と切り離されたようでした。転機となったのは、子育て支援活動に誘われたことです。保護者の個性や特技を生かして子育て世帯をサポートする活動に関わる中で、得意分野の「舞台」で貢献できないかと考えるようになり、ミュージカルを通じて子育て世代と地域をつなげる取り組みを始めました。これを機に、市民劇団の演出にも携わるようになり、現在の「ワンダーラー」につながる縁ができました。

―普段の活動

小学生から大人まで在籍する劇団「ミュージカルカンパニーワンダーラー」では演出家として活動しています。また、代表を務める「舞台芸術創造団体ワンダーラーファクトリー」では、脚本の執筆・舞台美術の製作・出演のほか、チラシのデザインなど、総合的な芸術活動を行っています。

―家族とのつながり

私たち夫婦は、忙しい中でも、お互いの状況を気遣うことを大切にしています。二人の子どもたちも劇団に所属しており、縦横のつながりのある、大きな家族のような社会の中で成長しています。

―今後の抱負

チームならではの大変さはありますが、関わる人が増えれば増えるほど面白くなります。舞台に携わる主役・脇役・スタッフ、どんな役割も尊く等しい。これからも全員で、オンリーワンの作品を作り続けたいです。

「与えられた命分生きる」がモットーという髙嵜さん。常に未来を見据えて走り続ける姿勢に活力をいただきました。

問合せ先＝市民参画課（☎64・1314）

舞台では、役者として主役を演じることも。

皆さんとの交流を楽しみに
新たなCIR・ALTが着任

新たな国際交流員（CIR）に、ホー・イーチンさん（24、**写真㊨**）が、外国語指導助手（ALT）にボロニエク＝マスリス・アダムさん（27、**写真㊥**）とバルユット・ラルフ マシューさん（24、**写真㊧**）が、それぞれ着任しました。国際交流イベントや市立小・中学校で、皆さんとの交流を深めます。

旅行や日本の漫画が趣味というホーさんは、カナダ出身で11歳まで台湾で育ったため、英語のほか中国語も堪能です。「カナダではニックネームで『メリー』と呼ばれていたので、メリーと気軽に声を掛けてくれるとうれしいです」と笑顔で話してくれました。

同じくカナダ出身のアダムさんは自転車が趣味。「市内のコースを自転車で走りたい」と目を輝かせていました。

また、アメリカ出身のラルフさんは「地元のお祭りやお寺・神社を見るのが楽しみ」と話してくれました。

問合せ先＝▼市民参画課（☎64-1314）▼学校教育課（☎64-1392）

産業祭2017
フリマ出店者を募集

産業祭実行委員会は、産業祭2017のフリーマーケット出店者を募集します。

日時＝11月19日㈰午前9時～午後3時

場所＝田辺公園多目的運動広場東側通路

対象＝市内に在住・通勤する人

商工業者を除きます。

出店スペース＝約6㎡

飲食物の出店や車を駐車しての販売はできません。また、テントなどはありません。

募集店数＝先着30店

出店料＝2千円

出店しない場合でも返却できません。

申込方法＝京都やましろ農業協同組合京田辺支店にある申込書に、出店料を添えて申し込んでください

申込期間＝10月2日㈪～20日㈮（土・日曜日、祝日を除く）

申込・問合せ先＝京都やましろ農業協同組合京田辺支店（☎62・1177）

PRESENT Quiz クイズ
ヒントは広報紙の中に!!

NHKのど自慢は10月○日

京田辺産新米（5kg）

5名様

はがきに次の質問の回答と郵便番号・住所・氏名・年齢・日中連絡がつく電話番号を書いて郵送してください。応募は広報紙のほか、京田辺市eモニター（たなモニ）でも受け付けています。

①「○」に入るクイズの答え
②興味を持った記事と感想
③分かりにくかった記事
④今後取り上げてほしい企画やご意見など

正解者の中から抽選で5名様に、京田辺産の新米（5kg）をプレゼントします。

個人情報は賞品の発送のみに使用します。また、いただいた意見や感想は広報紙などで紹介する場合があります。なお、ご意見に対する個別回答はできませんのでご了承ください。

当選発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。

しめきり＝10月13日㈮（当日消印有効）

応募・問合せ先＝秘書広報課（〒610-0393〈住所不要〉、☎64-1320）

先月号の答え：京田辺勢優勝「6」年ぶり